

# 「災害から命を守る」解答例

## 問

### ■ 実施日

8 月 30 日

### ■ 想定した災害

震度6の地震（じしん）発生

### ■ 参加した人・人数

市職員や住民 ● 60 人

### ■ 今年の訓練の一番の特徴

新型コロナウイルスの感染防止を踏まえ、「3密」回避の対策がもりこまれている点

### ■ 訓練後の岐阜市防災対策課長さんの話

新型コロナ対策では、事前準備がこれまで以上にかかることが分かった。課題を洗い出し、災害に備えたい。

### 【その他（他地いき等）の防災訓練の想定と内容】

	想定	内容
県の総合防災訓練	新型コロナが蔓延（まんえん）する中で巨大地震（じしん）が発生した。	県警や陸上自衛隊など47機関が参加。県災害対策本部会議で多数の住民が孤立したと想定された市や現地の自衛隊とテレビ会議中継をつなぎ、応援部隊の運用案や救援活動などの手順を確認した。
下呂市の訓練	午前8時、震度5強の地震（じしん）が発生	自治会単位で避難所に住民を誘導。初期消火訓練を行った。
飛騨市の訓練	洪水や土砂災害	市民らが自宅で「垂直避難訓練」を行った。